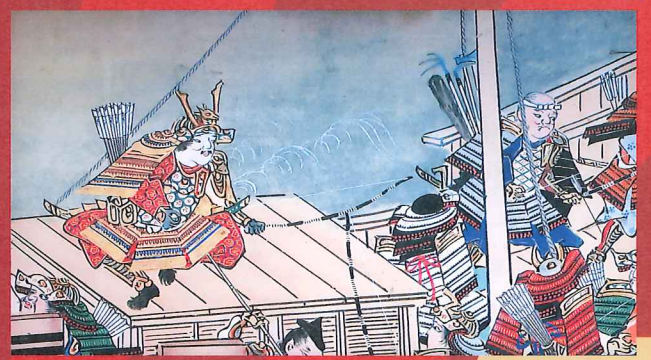




一の谷・屋島合戦図屏風(左隻)



平家物語絵巻 巻第9下 坂落しの事



関西大学との共同研究により作成した
平家物語絵巻 巻第11上 逆櫓の超高精細画像

源義経もビックリ!
世界初の超高精細画像を
体感しよう!!

関連イベント

● **ギャラリートーク** 会期中の土曜日 14:00～ 学芸員によるギャラリートークを行います。

● 特別講座

「平家物語を読み解く」

8月8日(土) 13:30～15:00 PART I 高校生講座

8月9日(日) 13:30～15:00 PART II 一般講座

※約1時間の講演後、展示室にて列品解説を行います。

講 師 / 櫻井陽子氏(駒澤大学文学部教授)

会 場 / 林原美術館ロビー

定 員 / 各日60名(要予約)

会 費 / 高校生:1,000円(図録なし)

一般:①3,500円(図録代込み) ②1,700円(図録なし)

※参加費には入館料が含まれます。

※お申し込みは下記の連絡先までお願いいたします。

「能の世界を学ぶ —謡・舞・面・装束など—」

9月5日(土) 13:30～15:30

出 演 / 大島衣恵氏(喜多流大島能楽堂)

場 所 / 林原美術館ロビー

定 員 / 60名(要予約)

参加費 / 1,500円(入館料別途)

林原美術館 特別展

すべて魅せます 平家物語絵巻

平成27年 7.18(土) → 9.23(水・祝)

日本で唯一、
平家物語の全文章を
おさめる36巻でござる。

PART I 源平の争乱
7.18(土) → 8.23(日)

PART II 悲運の女性・武将
8.25(水) → 9.23(水・祝)



平家物語絵巻 巻第9下 敦盛最期の事



十六

林原美術館 HAYASHIBARA MUSEUM OF ART

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-7-15
TEL(086)223-1733 FAX(086)226-3089
http://www.hayashibara-museumofart.jp
*車椅子での入館設備があります。

交通 / JR岡山駅から徒歩25分 / 路面電車[東山行]県庁下車徒歩7分
岡電バス[岡電高屋行]県庁前下車徒歩3分
宇野バス[瀬戸駅前・四御神行]県庁前下車徒歩3分
循環バスめぐりん[県庁線、県庁・京橋線(Cルート)]県庁前下車徒歩3分

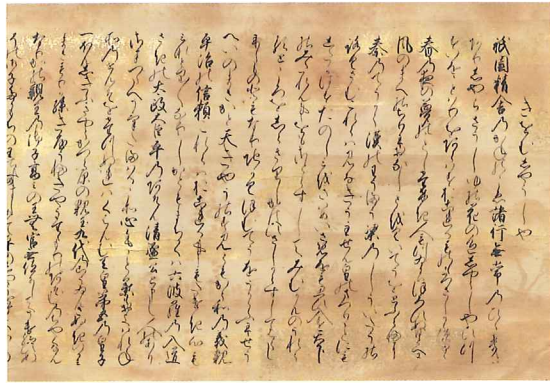


●開館時間 10時～17時(入館受付は16時30分まで) 月曜日休館(祝日の場合は翌日)
●入館料(各回) 一般700円 高・大学生400円 小・中学生200円 友の会会員200円 PART I・II 共通券1,000円(一般のみ)
※団体(20名様以上)2割引 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保険福祉手帳をご持参の方とその付添いの方1名は無料
●後援 岡山県郷土文化財団 ●特別協力 関西大学 ●協力 パナソニック
林原美術館 〒700-0823 岡山市北区丸の内2-7-15 TEL(086)223-1733 FAX(086)226-3089 http://www.hayashibara-museumofart.jp

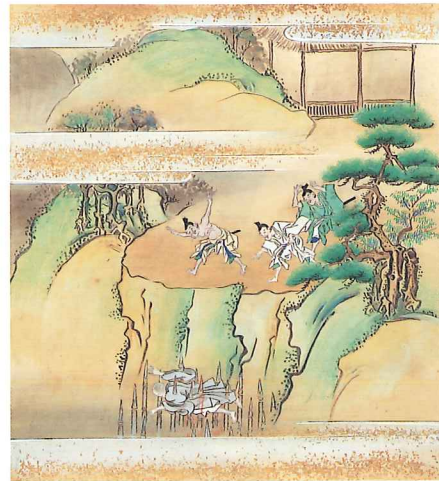
主催
林原美術館
山陽新聞社

PART I 源平の争乱

PART I「源平の争乱」(7月18日(土)～8月23日(日))では、栄華を極めた平家が平清盛の没後に没落していく様子や、源頼朝や弟の義経を中心とした源平の勇壮な合戦の場面、壇の浦で平家一族が迎える悲劇の最期など、王道のストーリーに沿ってよく知られた名場面を中心にご覧いただきます。全36巻を一堂に展示することで、源平の争乱がどのようなかたちで描かれたのか、壮大な平家物語の世界をお楽しみいただけます。



巻第1上 祇園精舎



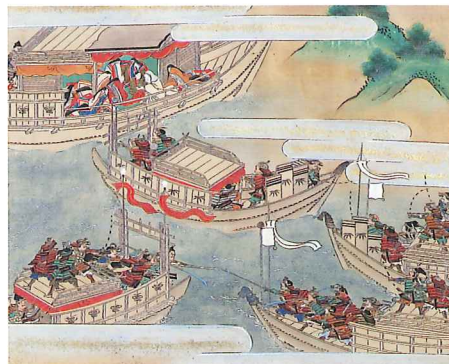
巻第2下 新大納言の死去の事



巻第7下 忠度の都落の事



若女



巻第11中 先帝の御入水

林原美術館 特別展

すべて魅せます 平家物語絵巻

「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり」の名文ではじまる『平家物語』は、栄華を誇った平家一族の隆盛と、その後の源氏との争いによる没落を描いた、日本で最も親しまれている物語の一つです。琵琶法師たちによって語り継がれた『平家物語』は、江戸時代になると流布本が定着し、それを底本として壮大な絵巻物が制作されるようになります。それらの中で代表的な作品が、当館所蔵の『平家物語絵巻』(越前松平家伝来、全36巻)です。土佐左助によって描かれたと伝えられる本絵巻は、本紙の全長が約940メートル、実に705場面を描いており、日本で唯一、平家物語の全文章をおさめた『平家物語絵巻』として知られています。

本展では会期をPART IとPART IIにわけ、平家物語の織りなすさまざまな世界をご紹介します。あわせて会期中には、**本展の目玉**である関西大学と共同で作成した、平家物語絵巻の超高精細デジタル画像技術による微細かつ繊細な拡大が可能なコンテンツを、最新の4Kテレビ画像により展示します。これまで気付くことのなかった衝撃の絵巻をご覧ください。

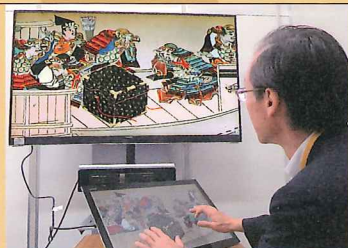


「平家物語絵巻」全巻
12巻各[上・中・下]の
計36巻

関西大学との共同研究について

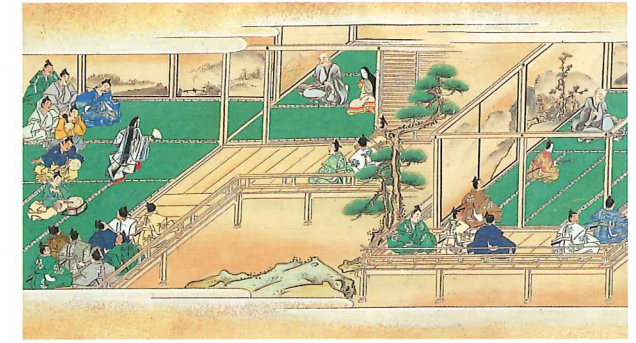
平成26年から林原美術館と関西大学が共同研究で、平家物語絵巻のうち屋島の戦いの場面などが収まる「巻第11上」(長さ33m、縦0.35m)の画像化を行いました。作成された超高精細の画像(1,200dpi)は、パソコンにタッチすることで大縮小することができ、**直径2cmほどの人物の顔を40cm以上に拡大してもくっきり見ることができ**ます。展覧会会期中に、世界トップとなるこの最新の技術を、パソコンと大型ディスプレイを使用して実際に体験して

いただくことができます。ご期待ください。



PART II 悲運の女性・武将

PART II「悲運の女性・武将」(8月25日(火)～9月23日(水・祝))では、妓王や小督といった女性にまつわる悲話や、平敦盛・平教経(能登殿)など良く知られた武将の最期など、平家物語を彩る魅力的な人物を中心にご覧いただきます。平家物語絵巻は卷子本のため、物語を代表する名場面と同じ巻物に収められている箇所は、なかなか展示することができません。この機会に、人々の心を引き付けてやまない、もう一つの平家物語の魅力をご堪能ください。



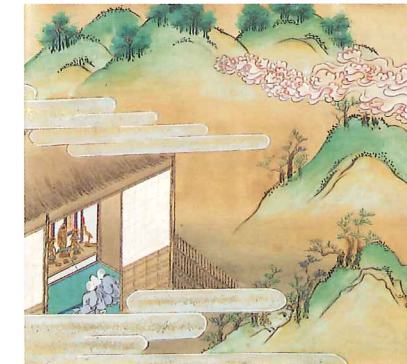
巻第1上 妓王の事



巻第4下 宮の御最期の事



巻第6上 小督の事



巻第12下 女院御往生



小面 銘 藤波